

## 個別施設毎の長寿化計画

## 様式1

市町村名		朝日村		施設所有者		朝日村		記入者		長野県土地改良事業団体連合会		作成日		令和3年2月4日			
施設名		造成工期		受益面積		造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策 [対策期間:令和3年度~令和12年度(10年間)]					
上井筋水路		着工	完成	ha		団体営かんがい排水事業		文献等の調査	現地調査	老朽化度	劣化要因	健全度評価	機能保全対策(計画)の必要性の有無	対策工法及び対策時期	対策費用(概算) [単位:千円]	監視計画	
施設全体の概要		S43	S45	20.0				改修、補修の履歴を記載		耐用年数を超えているかを判断	現地調査者からの聞き取り等により推測	別票、写真からマニュアルの区分により判定	機能保全対策(計画)の必要性の有無を記入 ※「無」の場合は理由を選択(「有」の場合は、「一」を選択)			日常監視の頻度、及び対策見直しのための監視頻度を記入	
施設現況	区間ごとの現況	1	暗渠工	(G1)	塩化ビニル管 φ600mm L=974m		不明	別票のとおり	未超過	老朽化	S-4	無	理由: ③				
		2	水門工	(G1-1)	角形ゲート 0.6m×0.5m		不明	別票のとおり	未超過	老朽化	S-4	無	理由: ①				
		3	水門工	(G1-2)	円形ゲート φ700mm		不明	別票のとおり	未超過	老朽化	S-4	無	理由: ①				
		4	水門工	(G1-3)	角形ゲート 0.7m		不明	別票のとおり	未超過	老朽化	S-4	無	理由: ①				
		5	水門工	(G1-4)	円形ゲート φ600mm		不明	別票のとおり	未超過	老朽化	S-4	無	理由: ①				
		6	水路工	(G2)	BF-600 L=1438m		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-3	無	理由: ①				
		7	水路工	(G3)	BF-500 L=103m		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-3	有	理由: -	二次製品更新(令和7年頃)	3,370	日常: 1回/年 監視: (目視)	対策見直し: 5年経過 監視: (目視)
		8	水路工	(G4)	自由勾配側溝-600 L=689		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-3	無	理由: ①				
		9	水路工	(G5)	特殊車道用U字溝-600 L=76m		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-3	無	理由: ①				
		10	水路工	(G6)	現場打コンクリート水路 0.6m×0.4m L=118m		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-3	無	理由: ①				
		11	水路工	(G7)	練石積水路 1.0m×0.5m L=139m		不明	別票のとおり	未超過	老朽化	S-4	無	理由: ③				
		12	水路工	(G8)	U字溝-600 L=111m		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-3	無	理由: ①				
		13	水路工	(G9)	現場打コンクリート水路 0.6m L=328m		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-3	無	理由: ③				
		14	水路工	(G10)	現場打コンクリート水路 1.0m×0.8m L=145m		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-3	有	理由: -	表面被覆工法(令和7年頃)	12,160	日常: 1回/年 監視: (目視)	対策見直し: 5年経過 監視: (目視)

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設

②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設

③消耗又は劣化が想定できない施設

④造成、更新等の実施後、間もない施設

—機能保全計画の対象

様式 1

個別施設毎の長寿化計画

市町村名		朝日村		施設所有者		朝日村		施設管理者		古見区		記入者		長野県土地改良事業団体連合会		作成日		令和3年2月4日		
施設名		造成工期		受益面積		造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策 [対策期間:令和3年度~令和12年度(10年間)]								
上井筋水路		着工	完成	ha		団体営かんがい排水事業		文献等の調査	現地調査	老朽化度	劣化要因	健全度評価	機能保全対策(計画)の必要性の有無	対策工法及び対策時期	対策費用(概算) [単位:千円]	監視計画				
S43		S45		20.0				改修、補修の履歴を記載		耐用年数を超えているかを判断	現地調査者からの聞き取り等により推測	別票、写真からマニュアルの区分により判定	機能保全対策(計画)の必要性の有無を記入 ※「無」の場合は理由を選択(「有」の場合は、「一」を選択)			日常監視の頻度、及び対策見直しのための監視頻度を記入				
施設現況	区間ごとの現況	15	水路工	(G11)	現場打コンクリート水路 1.2m×1.0m L=834m		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-3	有	理由: 一	表面被覆工法 (令和7年頃)	82,170	日常監視: 1回/年 (目視)	対策見直し: 5年経過 監視: (目視)			
		16	水路工	(G12)	現場打コンクリート水路 1.2m L=333m		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-3	無	理由: ③							
		17	水門工	(G12-1)	角形ゲート 0.9m×0.8m		不明	別票のとおり	未超過	老朽化	S-5	無	理由: ④							

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由  
 ①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設  
 ②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設  
 ③消耗又は劣化が想定できない施設  
 ④造成、更新等の実施後、間もない施設  
 一機能保全計画の対象

## 様式1

## 個別施設毎の長寿化計画

市町村名		朝日村		施設所有者		朝日村		記入者		長野県土地改良事業団体連合会		作成日		令和3年2月4日			
施設名		造成工期		受益面積		造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策 〔対策期間:令和3年度～令和12年度(10年間)〕					
中井筋水路		着工	完成	ha		団体営かんがい排水事業		文献等の調査	現地調査	老朽化度	劣化要因	健全度評価	機能保全対策(計画)の必要性の有無	対策工法及び対策時期	対策費用(概算) [単位:千円]	監視計画	
施設全体の概要		不明	S35	30.0				改修、補修の履歴を記載		耐用年数を超えているかを判断	現地調査者からの聞き取り等により推測	別票、写真からマニュアルの区分により判定	機能保全対策(計画)の必要性の有無を記入 ※「無」の場合は理由を選択(「有」の場合は、「一」を選択)			日常監視の頻度、及び対策見直しのための監視頻度を記入	
施設現況	区間ごとの現況	1	水路工	G1	現場打コンクリート水路 0.8~1.8m×0.45~0.8m L=255m		不明	別票のとおり	超過		S-3	無	理由: ①				
		2	水門工	G1-1	角形ゲート 1.3m×1.1m		不明	別票のとおり	超過		S-3	無	理由: ①				
		3	水門工	G1-2	角形ゲート 0.7m×0.7m		不明	別票のとおり	未超過		S-4	無	理由: ①				
		4	水路工	G2	高密度ポリエチレン管 φ600mm		不明	別票のとおり	未超過		S-4	無	理由: ③				
		5	水路工	G3	現場打水路コンクリート 1.3m×0.5m L=51m		不明	別票のとおり	超過		S-3	有	理由: -	表面被覆工法(令和7年頃)	3,280	日常監視: 1回/年(目視)	対策見直し監視: 5年経過(目視)
		6	水路工	G4	現場打水路コンクリート 0.8m×0.5m L=644m		不明	別票のとおり	未超過		S-4	無	理由: ③				
		7	水路工	G5	BF-800 L=494m		不明	別票のとおり	未超過		S-4	無	理由: ①				
		8	水路工	G6	BOXカルバート 1.3m×1.3m L=14m		不明	別票のとおり	未超過		S-5	無	理由: ④				
		9	水路工	G7	自由勾配側溝-600 L=476m		不明	別票のとおり	未超過		S-4	無	理由: ①				
		10	水門工	G7-1	角形ゲート 0.45m×0.45m		不明	別票のとおり	未超過		S-4	無	理由: ①				
		11	水路工	G8	BF-700 L=613m		不明	別票のとおり	超過		S-3	有	理由: -	二次製品更新(令和5年頃)	27,630	日常監視: 1回/年(目視)	対策見直し監視: 5年経過(目視)
		12	水門工	G8-1	角形ゲート 0.4m×0.25m		不明	別票のとおり	超過		S-3	有	理由: -	ゲート更新(令和7年頃)	710	日常監視: 1回/年(目視)	対策見直し監視: 5年経過(目視)
		13	水路工	G9	自由勾配側溝-700 L=36m		不明	別票のとおり	未超過		S-5	無	理由: ④				
		14	水路工	G10	現場打水路コンクリート 0.5m L=509m		不明	別票のとおり	超過		S-3	無	理由: ①				

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設

②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設

③消耗又は劣化が想定できない施設

④造成、更新等の実施後、間もない施設

一機能保全計画の対象

## 様式1

## 個別施設毎の長寿化計画

市町村名		朝日村		施設所有者		朝日村		記入者		長野県土地改良事業団体連合会		作成日		令和3年2月4日					
施設名		造成工期		受益面積		造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策 〔対策期間:令和3年度～令和12年度(10年間)〕							
針尾用水路		着工	完成	ha		かんがい排水事業		文献等の調査	現地調査	老朽化度	劣化要因	健全度評価	機能保全対策(計画)の必要性の有無	対策工法及び対策時期	対策費用(概算) [単位:千円]	監視計画			
施設全体の概要		不明		S47		14.6		かんがい排水事業		改修、補修の履歴を記載		耐用年数を超えているかを判断 現地調査者からの聞き取り等により推測		別票、写真からマニュアルの区分により判定		機能保全対策(計画)の必要性の有無 ※「無」の場合は理由を選択(「有」の場合は、「一」を選択)		日常監視の頻度、及び対策見直しのための監視頻度を記入	
区間ごとの現況		1	水路工	(G1)	BF-1000 L=350m		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-3	無	理由: ①						
		2	水門工	(G1-1)	角形ゲート 1.0m×1.0m		不明	別票のとおり	未超過	老朽化	S-4	無	理由: ①						
		3	水門工	(G1-2)	角形ゲート 0.8m×0.8m		不明	別票のとおり	未超過	老朽化	S-4	無	理由: ①						
		4	水路工	(G2)	現場打コンクリート水路(パネル補強) 0.7～1.05m×0.6～0.7m L=457m		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-3	無	理由: ①						
		5	水門工	(G2-1)	角形ゲート 0.7m		不明	別票のとおり	未超過	老朽化	S-4	無	理由: ①						
		6	水路工	(G3)	現場打コンクリート水路 0.9～1.5m×0.4～0.8m L=1510m		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-3	無	理由: ①						
		7	水門工	(G3-1)	角形ゲート 0.9m		不明	別票のとおり	未超過	老朽化	S-4	無	理由: ①						
		8	水門工	(G3-2)	角形ゲート 0.5m		不明	別票のとおり	未超過	老朽化	S-5	無	理由: ④						
		9	水門工	(G3-3)	角形ゲート 1.1m		不明	別票のとおり	未超過	老朽化	S-4	無	理由: ①						
		10	水路工	(G4)	自由勾配側溝-800 L=488m		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-3	無	理由: ①						
		11	水門工	(G4-1)	角形ゲート 0.6m		不明	別票のとおり	未超過	老朽化	S-4	無	理由: ①						
		12	水路工	(G5)	自由勾配側溝-300 L=68m		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-3	無	理由: ①						
		13	水路工	(G6)	現場打コンクリート水路 0.3～0.9m×0.4～0.5m L=170m		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-2	有	理由: -	現場打更新 (令和5年頃)	11,720	日常監視: 1回/年 監視: (目視)	対策見直し監視: 5年経過 監視: (目視)		
		14	水路工	(G7)	自由勾配側溝-400 L=440m		不明	別票のとおり	超過	老朽化	S-2	有	理由: -	二次製品更新 (令和5年頃)	28,950	日常監視: 1回/年 監視: (目視)	対策見直し監視: 5年経過 監視: (目視)		

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

- ①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設
  - ②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設
  - ③消耗又は劣化が想定できない施設
  - ④造成、更新等の実施後、間もない施設
- 一機能保全計画の対象

様式 1

個別施設毎の長寿命化計画

市町村名		朝日村		施設所有者		朝日村		施設管理者		針尾区		記入者		長野県土地改良事業団体連合会		作成日		令和3年2月4日	
施設名		造成工期		受益面積		造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策 [対策期間:令和3年度~令和12年度(10年間)]							
針尾用水路		着工	完成	ha		かんがい排水事業		文献等の調査	現地調査	老朽化度	劣化要因	健全度評価	機能保全対策(計画)の必要性の有無	対策工法及び対策時期	対策費用(概算) [単位:千円]	監視計画			
施設全体の概要	不明		S47	14.6															
	水路工 L=3716m 水門工 N=7						改修、補修の履歴を記載				耐用年数を超えているかを判断	現地調査者からの聞き取り等により推測	別票、写真からマニュアルの区分により判定	機能保全対策(計画)の必要性の有無を記入 ※「無」の場合は理由を選択(「有」の場合は、「-」を選択)			日常監視の頻度、及び対策見直しのための監視頻度を記入		
施設現況 区間ごとの現況	15	水路工	(G8)	BF-400 L=236m		不明		別票のとおり	超過	老朽化	S-2	有	理由: -	二次製品更新(令和7年頃)	6,470	日常監視: 1回/年(目視)	対策見直し監視: 5年経過(目視)		

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由  
 ①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設  
 ②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設  
 ③消耗又は劣化が想定できない施設  
 ④造成、更新等の実施後、間もない施設  
 -機能保全計画の対象

様式 1

個別施設毎の長寿命化計画

市町村名		朝日村		施設所有者		朝日村		記入者		長野県土地改良事業団体連合会		作成日		令和3年2月4日			
施設名		造成工期		受益面積		造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策 [対策期間:令和3年度~令和12年度(10年間)]					
外山沢用水路		着工	完成	ha		団体営かんがい排水事業		文献等の調査	現地調査	老朽化度	劣化要因	健全度評価	機能保全対策(計画)の必要性の有無	対策工法及び対策時期	対策費用(概算) [単位:千円]	監視計画	
施設全体の概要	不明		S40	20.0													
	水路工 L=1690m 水門工 N=2						改修、補修の履歴を記載				耐用年数を超えているかを判断	現地調査者からの聞き取り等により推測	別票、写真からマニュアルの区分により判定	機能保全対策(計画)の必要性の有無を記入 ※「無」の場合は理由を選択(「有」の場合は、「一」を選択)			日常監視の頻度、及び対策見直しのための監視頻度を記入
施設現況 区間ごとの現況	1	水路工	(G1)	BF-500 L=754m		不明	別票のとおり	超過		S-3	無	理由: ①					
	2	水門工	(G1-1)	角形ゲート 0.9m×0.55m		不明	別票のとおり	未超過		S-4	無	理由: ①					
	3	水門工	(G1-2)	角形ゲート 0.5m×0.5m		不明	別票のとおり	未超過		S-4	無	理由: ①					
	4	水路工	(G2)	BF-600 L=629m		不明	別票のとおり	超過		S-3	無	理由: ①					
	5	水路工	(G3)	BF-700 L=334m		不明	別票のとおり	超過		S-2	有	理由: -	二次製品更新(令和5年頃)	15,050	日常監視: 1回/年 監視: (目視)	対策見直し: 5年経過 監視: (目視)	

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由  
 ①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設  
 ②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設  
 ③消耗又は劣化が想定できない施設  
 ④造成、更新等の実施後、間もない施設  
 一機能保全計画の対象